

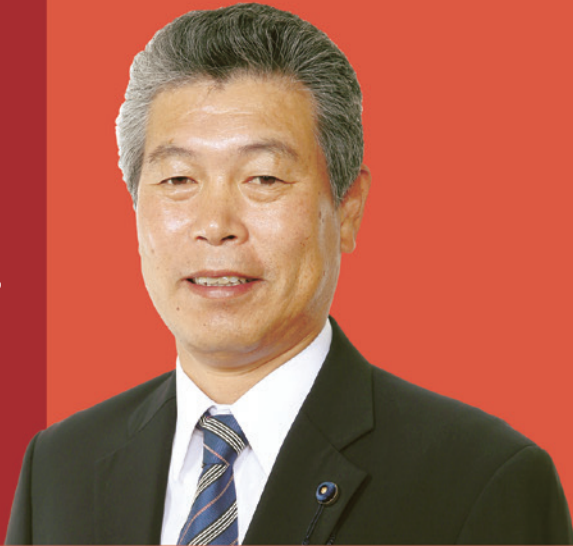
# 宮本新八 しんぱち

建設委員会 平和推進・地域魅力向上対策特別委員会

山県郡北広島町細見863-1  
[TEL] 0826-35-0517  
[FAX] 0826-35-0770

〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会「広志会」控室  
[TEL] 082-513-4620 [FAX] 082-223-0185

広志会 議員	会長 城戸常太 [呉市] 警察・商工労働委員会 少子化・次世代育成対策特別委員会	砂原克規 [広島市西区] 生活福祉保健委員会 地方創生・行財政対策特別委員会	井原 修 [東広島市] 農林水産委員長 産業競争力強化対策特別委員会副委員長	佐藤 一直 [広島市中区] 総務委員会 社会基盤整備対策特別委員会
-----------	--	--	--	---



# 宮本新八



## 豪雨災害対応と教育を一般質問で問う

9月定例会一般質問で、この度の7月豪雨災害対応をはじめ、建設事業の担い手確保や農業者支援対策、災害に強い森林づくりについて知事の考えを聞き、同時に県立広島大学改革の方向性や本件教育の基盤整備などを、知事・教育長に問いました。主なものを紹介します。

さらに、県外からの建設技術者等を確保するための助成制度を創設するための予算を本定例会に提案しており、交通誘導員などにも、国や業界団体等と連携して確保に努める。

### 災害からの復旧・復興に向けた今後の対応

今後、災害の復旧・復興を着実に進めるため、整理する課題をどう認識し、どう解決しようとしているのか。

【知事答弁】「復旧・復興プラン」に基づき、被災地に最優先で取り組むとともに、「社会資本未来プラン」事業についても、地域の実情などを踏まえながら、計画的に推進していく必要がある。

災害復旧事業の実施には、公共土木施設の強靱化を念頭に、河川整備計画等の見直しとともに、再度災害防止の観点から、改良復旧等の積極的な活用などに取り組んでいく。

### 災害に強い森林づくり

災害に強い森林づくりの財源として「ひろしまの森づくり県民税」や「森林環境譲与税」の有効活用を図る必要があると考えるが、所見を伺う。

また、市町に対して森林の防災・減災対策に重点的に取り組むよう働きかけるべきと考えるが、どう取り組んでいくのか。

【知事答弁】森林環境譲与税の創設により、所有者の経営意欲が低下している森林は整備可能になると期待しており、手入れ不足の森林解消に向け、ひろしまの森づくり県民税と併せて活用し、災害に強い森林づくりを進めていきたい。

また、森林環境譲与税を活用した取り組みは、森林所有者特定のためのリスト提供、意向調

査を進める地域の選定、林業経営体との事前調整などの実務面について、市町を支援していく。

本県教育の基盤整備  
本県全体の教育基盤整備に責任を持つ県教育委員会として、今、最も優先して取り組むべきことは何なのか、また、その責務を果たすために、今後、どのような行動を起こそうとしているのか。

【知事答弁】教育の最終段階の場である大学教育は、知識を活用し、多様な人々と協働して新たな価値が創出できる人材を育成する必要がある。

【教育長答弁】学校教育の環境整備は、大変重要であると認識している。教育委員会としては、現場主義を貫き、学校訪問等を通じて、現場の状況を適切に把握しながら学校教育を支える環境整備を一体的に推進し、市町教育委員会や学校関係者が一丸となり「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県」を実現していきたい。

【知事答弁】教育の最終段階の場である大学教育は、知識を活用し、多様な人々と協働して新たな価値が創出できる人材を育成する必要がある。

【知事答弁】教育の最終段階の場である大学教育は、知識を活用し、多様な人々と協働して新たな価値が創出できる人材を育成する必要がある。

既存の3キャンパスの学部・学科再編と、新たな教育モデル構築を改革の両輪として進めたいが、それぞれの特色に応じた運営が必要なので、専任の学長を配置する1法人2学長体制での効果的かつ効率的な運営の検討を進めていきたい。

【知事答弁】教育の最終段階の場である大学教育は、知識を活用し、多様な人々と協働して新たな価値が創出できる人材を育成する必要がある。

## 9月定例会で6項目を問う

### 災害・農業・教育の環境の明日のために

広志会は7月豪雨災害後の議会において、県民一丸となって二次災害防止を含む復旧・復興に取り組んでいることを念頭に、

【知事答弁】教育の最終段階の場である大学教育は、知識を活用し、多様な人々と協働して新たな価値が創出できる人材を育成する必要がある。

- ① 災害からの今後の復旧対応
- ② 建設事業の担い手確保
- ③ 農業者支援
- ④ 災害に強い森林づくり
- ⑤ 県立広島大学の改革
- ⑥ 本県教育の基盤整備の6項目

- ④ 今後3年間以上要する災害復旧・復興事業と既存の事業計画とのバランスはどう考えているのか。また、既定の社会資本未来プランの見直しは視野にいれているのか。等が主なものです。

### 災害復旧・復興へ今後の対応

これには明確なビジョンを描いた上で道筋と手順を定めて取り組むべきとして（本紙中面にも掲載）、4つの課題をあげました。

- ① 復旧・復興は現状復旧だけでなく、全面的な改良復旧を。② 災害査定は早期に完了させ、復旧・復興の確実な実施を担保すること。

- ③ 災害前に決まっていた公共事業が、緊急対応のため期間延長や発注の繰延べが発生している。事業者が予定していた一般事業工事を実施する考えはない



城戸会長を囲み、左から宮本・砂原・井原・佐藤の各県議員

【知事答弁】「復旧・復興プラン」を以て被災地には最大優先で取り組むと同時に、社会資本未来プランにある事業は、計画的に推進していききたい。本災害の被災原因

【知事答弁】「復旧・復興プラン」を以て被災地には最大優先で取り組むと同時に、社会資本未来プランにある事業は、計画的に推進していききたい。本災害の被災原因

### 農業・森林課題と大切な教育

水稲農業の今後については、耕作地を維持し意欲を持つて農業に取り組める基盤づくりに、県はどう取り組もうとしているのか。また、災害に強い県土づくりの観点から、県内市町への森林の防災対策の取り組み姿勢はどうなのかを問いました。

さらに、県立広島大学への新たな教育モデルの構築案に対する疑問。来春開校の広島叡智学園等の一部の子供たちを対象とした先鋭的な教育展開より、県内に必要な教員を確実に配置する等の基盤整備を最優先にすべきでは等の疑問を呈しました。